

都城北RC週報



都城北ロータリークラブ
会長：井上 俊朗
幹事：新川 宏人

よいことのために
手を取りあおう

クラブ会長テーマ 今日Rotaryの日だから！
と言えるクラブへ

本日のプログラム 国際奉仕担当例会

令和8年2月17日(火) 第2754回 例会報告

- ・点鐘
- ・合唱：私たちの生業
- ・ゲスト：宮崎県立看護大学教授 串間 敦郎 様
一般社団法人 都城市スポーツコミッション6名の皆様
- ・ビジター：なし
- ・オブザーバー：なし

1 会長の時間 | 井上 俊朗 会長

会長の時間を務めさせていただきます。
本日は国際奉仕担当例会となっております。委員長を始め、委員会の皆様、準備ありがとうございます。
さて、今月2月は平和と紛争予防／紛争解決の月間となっております。今日は私なりの世界平和という一面からお話をさせていただきます。と思います。
皆様ご存じの通り、ロータリーの活動の中で、この北クラブは『青少年交換委員会の歴代委員長』を多く輩出している、青少年交換が代名詞にもなるようなクラブです。戸高デジグネートを始め、榎木直前会長、中村崇志現委員長など私も含めて多くの方が関わってこられました。その活動には、色々な旅行の引率に行くという業務がございます。年間では、一泊の長崎ツアーや今年の5月末からは一週間ほど日本の色々な場所に訪問するジャパンツアー、年度によっては鹿児島ツアー、そして、今週末からは沖縄ツアーという事で私が2泊3日引率させていただきます。九州地区の全部の多種多様な国から集まった留学生大所帯での計画がされています。そのツアー全てのテーマが『平和教育』というものです。ですので、長崎で在れば原爆資料館、鹿児島で在れば知覧特攻平和会館、沖縄であればひめゆりの塔等、戦争時代の傷跡をめぐるプログラムが入ってきます。
例えば、皆様が『原爆資料館』に行かれると『世界で初めて利用された原子爆弾によって一般人も含めて無残な結果になった』というような感想を持たれると思います。また、特攻基地やひめゆりの塔に行かれば『私たちの子供達や孫の年齢が日本国の為に勇敢に戦い命を落とした』と感じられるかもしれません。これが我々日本人の一般的な感じ方だと思います。
ただ、世界中の子供たちから見たら、各々違う感想を持ちます。例えば、原爆資料館に行くアメリカの子供たちの中には『戦争を終わらせた勇敢な一撃』と言う子もいます。特攻機地に行くと『911アメリカ同時多発テロと同じ手口でアメリカ軍を脅かした』という子もいます。恐らく今の言葉を聞いて“カチン”と来る方もいらっしゃるかもしれません。私も最初聞いた時は驚くとともに頭にきてい

ました。
ただ、よくよく考えると、それぞれの国の歴史教育というのはバラバラです。
例えば、日本の子供達に『第2次世界大戦がはじまったきっかけは何？』と質問すると『真珠湾攻撃』と答える子供が多いと思います。ですが、もしポーランドの子供に同じ質問をすると『ドイツがポーランドに攻めてきたとき』と答えます。ドイツの子供に同じ質問をすると『ドイツがヨーロッパを平定した時』と答えるかもしれません。
仕方ないのかもしれませんが、それぞれの国が自国のことを中心に教育を進めます。だからこそ同じものを観察しても、視点が違う国々からしたら、とらえ方が全く変わっていくのだらうと思います。

私自身の考えですが、戦争の傷跡を見るときに『どちらが正義でどちらが悪』というようなことを考えるのではなく、『戦争によってもなく悲しい歴史しか残っていない』という事だけが後世に伝わって欲しいと考える次第です。ぜひ、どのような感想を持たれたか、機会がございましたら皆様の意見をお聞かせいただきたいと思います。
以上で会長の時間とさせていただきます。
本日も宜しくお願い致します。



2 幹事報告 | 新川 宏人 幹事

地区 他クラブ 他団体 報告

- 西本ガバナース事務所
①ロータリーレート 2月 154円

クラブ報告

- 2/17(火) 例会終了後
創立60周年実行委員会 例会場
- 2/24(火) 例会会場変更 3F → 2F
例会前 11:00
第2回次年度理事会 例会場

●例会時に配布された資料は各自必ずお持ち帰りください。
※各案内の返信をお願いいたします。



3 出席報告

例会の状況	●会員数 ————— 46名 (出席免除者1名)
	●出席会員数 ——— 33名
例会の状況	●欠席数 ————— 12名
	(届有) 倉園、瀬尾、西村、吉原、山口、新原、東迫、東、水久保、油井、黒木(洋)
例会の状況	(届無) 田ノ上
	●出席率 ————— 73.33%
例会の状況	●前回修正出席率 2月10日：祝日週 休会
	●前々回修正出席率 2月 3日：82.22%
MU有会員	●2/3 3月定例理事会： 井上、新川、田中、榎木(敏)、小玉、島田、瀬尾、那須、橋詰、半代、戸高、森、竹内
	●2/8 公共イメージ向上セミナー：瀬尾
	●2/8 青少年交換派遣学生 第2回オリエンテーション：榎木(敏)
	●2/12 教育振興基金理事会：清水、中原、森
MU有会員	●2/16 LINE：吉原、東迫、黒木(興)、富松
	●2/10 祝日週 休会
MU無	●2/3 倉園、山口、白井、東、新原、田ノ上、水久保、油井 ⑧

4 委員会報告



〈皆勤賞〉
25年 佐伯浩一郎 会員



5 本日のプログラム

国際大会誘致に向けたまちづくりと市民・企業が果たす役割 国際奉仕委員会

～都城から始まる未来～

12月に、国際大会基準を満たす陸上競技施設として新設された「霧島酒造スポーツランド都城」を訪問し、地域の未来への大きな可能性を感じる機会となりました。本例会では、国際大会誘致・スポーツを通じた地域活性化・国際交流促進に向け、市民・企業・団体が担う役割についてスポーツコミュニティの観点から専門知識のある講師を招いてご講話いただき、都城北ロータリークラブ会員の皆様が果たせる役割を発見する。

【タイムスケジュール】

- 12:30～通常例会
- 12:45～担当例会
「国際大会誘致に向けたまちづくりと市民・企業が果たす役割」委員長挨拶 開催趣旨について 講師卓話(30分程度)
- 13:15 会長挨拶 (の言葉) 担当例会終了



▲榎木 祐介委員長



申間 敦郎 様

都城北ロータリークラブ講話
「国際大会誘致に向けた街づくりと市民・企業が果たす役割」
—山之口陸上競技場の戦略的利活用—
一般財団法人 宮崎陸上競技協会 理事長
公立大学法人 宮崎県立看護大学 教授
申間 敦郎

自己紹介 申間 敦郎(くしまあつろう)
宮崎市出身 筑波大学大学院体育研究科 修了
青山学院大学、筑波大学、都城高等の勤務を経て1997年宮崎県立看護大学専任
2003年より退職
現在、宮崎県立看護大学看護学部 教授 健康スポーツ科学研究室
専門領域: スポーツバイオメカニクス、コーチング論、体力医学
宮崎市介護予防運動プログラム「宮崎いせい健康体操」の制作等県内各地の介護予防運動を
作成するなど、現在地域高齢者の効果的な介護予防運動の研究や普及啓発活動に尽力
日本スプリント学会理事、日本健康運動看護学会評議員
一般財団法人 宮崎陸上競技協会理事
公益財団法人日本陸上競技連盟評議員・公認コーチ、九州陸上競技協会理事長
公益財団法人宮崎県スポーツ協会副会長 兼 企画・強化育成委員会委員長
宮崎県競技力向上対策本部委員
国民スポーツ・全国障がい者スポーツ大会準備委員会 常任委員他各種委員
宮崎県スポーツ推進審議会委員
宮崎市社会福祉施設整備・法人設立審査委員会
日本オリンピック委員会(JOC)強化指定選手専任コーチ 等々



県外からのスポーツキャンプ・合宿の経済・PR効果

区分	令和7年	対前年	対前年	令和6年	令和5年
	目標	増減率	増減率	春季	春季
団体数(団体)	1,343	7%	19.21%	378	336
参加人数(人)	13,273	2,273	20.33%	11,183	10,287
単一参加人数(人)	10,491	10,491	10.81%	97,077	88,424
観客数(人)	958,400	-94,887	-12.60%	753,347	858,800

＜以下：概大補足データ＞
年間の経済効果は120～150億円相当
全国2位※1位は沖縄県200億
(宮崎県の2025年総予算9100億)

スタジアム・アリーナ計画における5つのコンセプトと3つの視点

コンセプト

- 1.FOCUS (アリーナタイプの追求) : アリーナの機能や特性に焦点を当て、その特定の要素や目的に向けて最適な設計を追求する。
- 2.UNIQUE (ユニークデザインの追求) : 独自の魅力的なデザインを重視し、他とは異なる魅力的な外観や内部構造を追求する。
- 3.HOSPITALITY (ホスピタリティデザインの追求) : 訪れる人々に対するホスピタリティを重視し、快適で満足度の高い体験を提供するデザインを目指す。
- 4.FUTURE (フューチャーデザインの追求) : 先進的で未来志向のデザインを追求し、技術や社会の進展に対応した施設を構築する。
- 5.COMMUNITY (コミュニティデザインの追求) : 地域社会との調和を重視し、スタジアム・アリーナをコミュニティの一部として位置づけ、共有の場となるようなデザインを追求する。

文部科学省:スタジアム・アリーナ改革ガイドブック(第3版)

スタジアム・アリーナ計画における5つのコンセプトと3つの視点

視点

- 1.日常と非日常の両立: 閉鎖的な施設ではなく、地域の集会所となるような開かれた施設を構築することで、スポーツやエンターテインメントが日常生活と調和し、幅広い人々に親しまれる場所となる。
- 2.まちづくり: スタジアム・アリーナを地域の中心として位置づけ、まちとの連携を強化することで、地域に賑わいをもたらし、施設を訪れることが楽しく、魅力的な体験となるような計画を実現する。
- 3.地域課題解決: 環境、地域社会への貢献を考慮し、SDGs(持続可能な開発目標)などに沿った施設づくりを推進することで、地域の課題解決や持続可能な発展に寄与する。

文部科学省:スタジアム・アリーナ改革ガイドブック(第3版)

発想転換とコンセプト

- ・競技場を「試合の場所」から、「交流と経済の拠点」へ。
- ・スポーツ人を呼び“きっかけ”に使う。
- ・その軸になるのが、**スポーツ × 食 × 文化 × 観光**
- ・都城には、日本屈指の畜産、農産物、焼酎、そして文化があります。
- ・これをスポーツと結びつけることで、競技場は単なる箱物ではなく、**地域の魅力発信拠点**になります。

ロータリークラブの皆様へ

- ・以下がキーワードとなる『都城モデルを全国へ』『国スポは通過点』『使ってこそ価値』『未来への投資』
- ・支援者・担い手としての力が必要
- ・行政だけでは地域は変わりません。民の力があってこそ未来が動きます。

10分間スピーチ

- 樋口 正義会員
- 叙勲受章について
 - 猫について



6 SAA報告

ニコニコBOX

- 外勢 徹男 先々週誕生祝をいただきまして
- 樋口 正義 猫を探しています。ご協力ください。
- 橋詰 和弘 申間様、都城スポーツコミッションの皆様、本日はおそがしいところお越しいただきありがとうございます。榎木委員長お疲れ様でした。本日は、米山ランチです。ご協力お願いします。

周年事業

- 佐伯 浩一郎 皆勤賞をいただきました。ありがとうございました。
- 森 将彰 榎木祐介委員長、本日は貴重な例会をありがとうございました。戸高会員、ラグビーのチケットありがとうございました。
- 新川 宏人 申間教授、本日はありがとうございました。榎木委員長 お疲れ様でした。
- 木脇 桂太郎 申間様、本日の卓話よろしく御願いたします。ありがとうございました。

	前回累計額	今回	累計額
ニコニコBOX	44,000円	3,000円	47,000円
ロータリー財団	101,670円	0円	101,670円
米山記念奨学会	58,000円	5,436円	63,436円
教育振興基金	151,000円	0円	151,000円
ポリオプラス	24,000円	0円	24,000円
周年事業	149,000円	17,000円	166,000円

※ロータリー財団: [年間目標額] 会員1名:\$100
※米山記念奨学会: [年間目標額] 会員1名:10,000円



米山ランチBOX 4,436円でした

2月の例会予定表 平和と紛争予防/紛争解決

- 2/ 3 (火) 場所:ロイヤルホテル3F/時間 12:30～13:30
例会事業名:青少年奉仕・IA委員会担当『優良青少年表彰例会』
- 2/10 (火) 祝日週の為 休会
- 2/17 (火) 場所:ロイヤルホテル3F/時間 12:30～13:30
例会事業名:国際奉仕委員会担当『外部卓話』
- 2/24 (火) 場所:ロイヤルホテル3F/時間 12:30～13:30
例会事業名:教育振興基金委員会担当『教育振興基金奨学生卓話』